※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「詳述　倫理」（実教出版）						
副教材等	「テオーリア　最新　倫理資料集」　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・西洋・東洋思想の大きな流れを理解する。
・日常の当たり前の事象に「なぜ」の視点を持つ。
・古今東西の思想家の考えを参考にして、これからの自分の生き方を考える。

2　学習の到達目標

・思想家の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識・技能)
・自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や，倫理に関する概念や理論などを活用して，論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話したりする力を養う。（思考・判断・表現）
・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養い，多面的・多角的な考察やより深い思索を通して現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。（主体的に学習に取り組む態度）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	青年期、人間としてのあり方生き方などに関わる基本的な事柄を他者とともに生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、身に付けている。そのために、倫理に関する概念や理論を身に付けている。	他者とともに生きる主体的自己の確立について広く課題を見出し、人間の存在や価値などについて考察、探求するとともに、自己の生き方についてより深く思索する力、説明したりする力を身に付けている。	人間としてのあり方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを利用して、適切に選択し、他者とともに生きる主体的自己の確立に資するよう活用している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	青年期の課題と自己形成	・青年期の特徴を理解する ・人生における青年期の意義を理解する	a：青年期の特徴と意義について理解している。 b：人生における青年期の特徴と意義について，多面的に考察し，適切に表現している。 c：人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究している。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・パーソナリティの理論や青年期において直面する葛藤や欲求不満などの困難とその対処法を理解する。 ・青年期の発達課題を理解する。	a：パーソナリティの理論，葛藤や欲求不満とその対処法，青年期の発達課題、防衛機制について理解している。 b：自己形成について，多面的に考察し，適切に表現している。 c：青年期の発達課題や自己形成の課題への理解を通して，人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。	定期考査	定期考査	レポート
		・ウェルビーイングや生きがい，生きる意味についての考え方を理解する。 ・個性化と社会化について理解する。	a：ウェルビーイングや生きる意味についての考え方を理解している。 ・個性化と社会化の重要性について理解している。 b：よりよく生きる自己の生き方について多面的に考察している。 c：人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究している。	定期考査	定期考査	口頭発表
	人間とは何か	・人間のさまざまな特質について理解する。	a：人間のさまざまな特質について理解している。 b：人間の知性と感情の特徴について，適切に表現している。 c：人間の特質への深い理解を通して，人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究し，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

	ギリシア思想の誕生	・ギリシア人の世界のとらえ方や考え方の変化について理解する。	a: 神話的世界観や合理的世界観の成り立ちを理解している。 ・自然哲学者が世界をどのようにとらえたか理解している。 b: 神話的世界観と合理的世界観の違い、変化の背景を考察している。 ・自然哲学者の意義について考察，表現している。 c: ギリシア思想の理解を通して，哲学的に考察する意義を見出している。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・ソフィストとソクラテスの考えの違いを理解する。 ・ソクラテスが大切だと考えた生き方を知り，よりよい生き方とは何か考察する。	a: ソフィストの考え方、およびソクラテスの主張を原典資料から読み取っている。 b: ソフィストが登場した時代背景やソクラテスが真の知を探求した理由を考察している。 c: ・ソクラテスの考え方や生き方の理解を通して，自己のあり方を見つめ直し，よりよく生きる自己を形成しようとしている。	定期考査	定期考査	レポート
		・プラトンの理想主義について理解する。	a: プラトンのイデアなどの意味を理解している。 ・国家の三階級について，四元徳と関連づけて理解している。 b: 魂がどのようにあるべきかについて具体的な事象と関連づけながら考察している。 c: プラトンの理想主義の理解を通して，魂のよりよい状態とはどのようなことを指すのか自ら考えようとしている。	定期考査	定期考査 レポート	口頭発表
		・アリストテレスとプラトンの考え方との違いを理解する。 ・善や幸福を実現するためにはどうすればよいか，考察する。	a: プラトンとアリストテレスの考え方の違いについて理解し、観想的活動が幸福であるといわれる理由を原典資料から読み取っている。 b: 中庸や正義といった思想内容を，考察している。 c: アリストテレスの思想を通して，どのような生き方が幸福であるのか考察し，自己の生き方について思索を深めようとしている。	定期考査	定期考査	口頭発表 レポート

※令和４年度以降入学生用

		・ヘレニズムの時代背景を知るとともに，エピクロス派とストア派の思想を理解する。	a：エピクロス派およびストア派の思想について理解している。 b：エピクロスの快楽主義とはどのようなものであるか，具体的な例をあげて考察している。 ・エピクロスとゼノンの思想を比較したうえで，真の幸福について考察している。 c：ヘレニズム時代の思想をふまえて，個人の幸福を見つめ直し，よりよく生きる自己を形成しようとしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
1学期	キリスト教	・ユダヤ教の成立やその教えを理解する。	a：ユダヤ教の基本的な教えや性格について理解している。 ・「十戒」の内容を読み取る。 b：ユダヤ教の教えをふまえて，戒律や約束を厳格に守って生きることは人間にとってどのようなものとしてとらえられたかを考察し，適切に表現している。 c：ユダヤ教の理解を通して，宗教について考，神と人間の関係について思索している。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・イエスは，ユダヤ教のどういった点を批判し，神の教えをどのように表現したか理解する。	a：隣人愛について理解し、資料を読んで，イエスの教えを読み取っている。 b：イエスの思想を理解したうえで，「誰が襲われた人の隣人になったと思うか」に対して，自分なりの考察を表現している。 ・敵を排除することと敵を愛すること，どちらが平和を実現するのか，自分の考えを表現している。 c：・イエスの愛の教えを通して，自己のあり方生き方を見つめ直したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表
		・贖罪思想について理解する。 ・キリスト教がどのように広がっていったかについてまとめる。	a：・贖罪思想について理解する。 ・アウグスティヌスやトマス=アクィナスの思想について理解している。 b：キリスト教におけるイエスの死の意味について多面的に考察し，適切に表現している。	定期考査	定期考査	レポート

※令和４年度以降入学生用

			c：キリスト教の理解を通して，成立過程や影響力について主体的に追究し、理解を深めている。			
	イスラーム	・イスラームの成立やその教えの内容を理解する。	a：六信五行の内容を理解する。 b：イスラームの教えが広く受け入れられている理由をイスラームの教えをふまえて考察する。 c：イスラームの理解を通して，人々の信仰と日常生活とが関わっていることに気づき，人間としてのあり方に宗教はどのように影響しているか考えている。	定期考査	定期考査	レポート
	仏教	・バラモン教の死生観 ・バラモン教の教えやウパニシャッド哲学を理解する。	a：バラモン教およびウパニシャッド哲学の基本的な考え方を理解している。 b：業や輪廻の思想を手がかりにして，バラモン教の考え方をどのように自分なりにどうとらえるか，多面的に考察している。 c：ウパニシャッド哲学をふまえ、人間としてどのような境地をめざすべきか自らの思索を深めようとしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・ブッダの教えを理解する。 ・ブッダの教えから理想の生き方を考察する。	a：・ブッダの言葉を適切に読み取り，仏教の教えや求められる実践について整理している。 b：ブッダの教えをふまえて，自己のあり方生き方について多面的に考察している。 c：ブッダの教えを通して，自己のあり方生き方を見つめ直す。。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・大乗仏教の教えや実践を理解する。	a：空の思想や唯識思想の基本的な考え方を理解している。 ・菩薩の道と菩薩の徳に共通するものを原典資料から適切に読み取っている。 b：空の思想や唯識思想について，具体的な生活問題や身近な事象に置き換えて説明したり，適切に表現したりしている。 c：大乗仏教の理解を通して，その日本への影響に関心を広げたり，思想内容を理解しようと追究したりすることができている。	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

	中国思想	・孔子の言葉を読み取り，その教えを理解する。	a：孔子の教えを原典資料から適切に読み取っている。 b：資料から，孔子が，羊を盗んだ父の罪を隠す子を「正直者」といったのはなぜか，自分の考えをまとめて適切に表現している。 ・孔子が理想とした「仁」は，具体的にどのような生き方において実現されるのかを考察している。 c：教えを通して，人間のあり方生き方に関わる課題について主体的に追究，よりよい人間関係を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・孔子以外の儒家思想を理解する。 ・老荘思想を理解する。	a：儒家においても考え方の共通性や違いがあることを理解する。 ・老荘思想がめざす道に即した生き方について理解する。 b：孟子と荀子は，性と実現すべき善の関係をそれぞれどのようにとらえているかを読み取る。 ・儒家と道家の考え方の違いについて考え，自分なりにまとめて表現している。 ・道に即した生き方について，具体的な場面を想定して考察し，適切に表現している。 c：儒家思想の理解を通して，理想的な人間としてのあり方生き方について主体的に考察する。 ・老荘思想の道に即してありのままに生きることの意義について，儒家などほかの考え方と比較している。	定期考査	定期考査	口頭発表
	宗教・芸術と人生	○宗教と芸術は，人生でどのような意味をもっているのだろうか。 ・宗教と芸術の意義を理解する。	a：資料を読み取りながら，芸術の意味について理解している。 b：宗教や芸術の意義について，多面的に考察している。 c：芸術への関心を広げ，人間がそれを通して何を表現しようとしているかについて自ら考えを深め，人生において芸術や宗教が果たす役割について自ら追究しようとしている。	定期考査	提出物	レポート

※令和４年度以降入学生用

	人間の尊厳 ルネサンス・宗教改革	・ルネサンス期の時代変化について，文学や芸術などの側面から理解する。	a：ルネサンス期の人々の生き方について理解している。 b：ルネサンス期の思想をふまえ，人間らしい生き方について考察している。 c：ルネサンス期の理解を通して，人間らしい生き方について主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・宗教改革の動きやルター，カルヴァンの思想を理解する。	a：ルター，カルヴァンの思想について理解している。 b：当時の教会権力に対して，ルターらが宗教改革で果たした役割はどのようなものであったか考察し，適切に表現している。 c：宗教改革の理解を通して，正しいあり方や考え方を形成しようとしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・モンテーニュやパスカルの思想を理解する。	a：モンテーニュやパスカルの思想を理解している。 b：寛容に関して，モンテーニュの主張をふまえ，現代でも非寛容が対立や戦争をうみだしていることなどを参考に，自分の考えをまとめる。 c：モラリストの思想の理解を通して，人間としてのあり方生き方について主体的に追究している。	定期考査	定期考査	口頭発表
	科学技術と人間	・ベーコンの帰納法を理解する。 ・デカルトの演繹法を理解する。	a：機械論的自然観やベーコンが説いた四つのイドラについて理解している。 ・デカルトの方法的懐疑や物心二元論などを理解している。 ・帰納法と演繹法を具体的事例をもとに整理して理解している。 b:帰納法と演繹法について，その学問的意義を多面的に考察し，知の源泉とは何であるかについて適切に表現している。 ・経験論と合理論の違いの考察 c:「わたしは考える，それゆえにわたしはある」が真理であることをふまえて，自我とは何であるか主体的に追究し，思索を深めようとしている。	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

	民主社会と自由の実現	ホッブズ，ロック，ルソーは，人間が民主社会をどのようにして形成すべきと考えたのだろうか。 ・社会契約説の考え方を理解する。	a:ホッブズ，ロック，ルソーの思想の相違点について整理してまとめている。 b: 社会契約説が登場した意義について多面的に考察している。 c: 社会のあり方に関わる事象や課題について主体的に追究し，他者と共によりよく生きる社会を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 口頭発表	レポート
		○カントの考える道徳的な生き方とはどのようなものだろうか。 ・カントの道徳論を理解する。	a: カントの思想を原典資料から適切に読み取っている。 b: 多面的に考察，具体的な場面と関連づけて表現している。 c: ・カントの思想の理解を通して，人間としてのあり方生き方がどうあるべきかについて主体的に追究している。	定期考査	定期考査	口頭発表
		○ヘーゲルは歴史や共同体，そして，共同体に生きる人間について，どのように考えたのだろうか。 ・精神と歴史の関係や弁証法を理解する。	a: 精神と歴史の関係や弁証法について理解している。 b: 弁証法をふまえて，p.105 のCheck!について，多面的に考察し，適切に表現している。 c: 弁証法の考え方の理解を通して，個人として，また社会の一員として生きる人間としてのあり方を捉え直そうとしている。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表
	社会と個人	・アダム=スミスの思想や当時の社会状況を読み取る。 ・功利主義の思想を理解する。	a: 功利主義の考え方について理解している。 ・ベンサムやミルの思想を原典資料から適切に読み取っている。 b: 快楽と苦痛について，具体的な事例をあげて，適切に表現している。 ・カントの動機説と対比して，功利主義の帰結主義について多面的に考察，適切に表現している。 c: 功利主義の理解を通して，幸福の見方や考え方，社会のあるべき姿について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		・実証主義や社会進化論を理解する。 ・空想的社会主義の意義を理解する。 ・マルクスの思想を理解する。	a: 実証主義や社会進化論について、また空想的社会主義を理解している。 ・マルクスの思想内容を理解している。 b: 労働の疎外について具体例をあげて多面的に考察し，適切に表現している。 c:社会進歩の負の側面へも焦点を当て、現代社会のさまざまな事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる社会のあり方を構想しようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・プラグマティズムの思想を理解する。	a: プラグマティズムの考え方について理解している。 b: 真理が個人や時代によって異なるという見立てについて，多面的に考察，適切に表現している。 c: プラグマティズムの思想の理解を通して，個人や社会に関する真理について追究しようとしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
２学期	近代的人間の見直し	○実存主義の思想家たちが求めた真の生き方とは，どのようなものだろうか。 ・実存を理解する。 ・実存主義の思想を理解する。	a:実存主義の思想を原典資料から読み取って理解している。 ・キルケゴールが理想とした生き方を理解している。 ・ニーチェの批判する内容を理解する。 ・サルトルにとって，人間存在とはどのようなものであるか理解している。 b:ハイデガーのいう全人生を賭けた「決意」が，世人として失われている状態を解消するとはどういうことか，具体的な例をあげて，考察している。 c: 実存主義の理解を通して，人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 レポート	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		○「自己」の意識の成立を，精神分析はどのように説明するのだろうか。 ・無意識の構造を理解する。	a: フロイトの心の構造について理解している。 b:フロイトとユングの違いをふまえて，無意識とはどのような意味をもつのかについて考察している。 c: 精神分析の理解を通して，自我とは何かを考えたり，人間としてのあり方生き方を考察したりして，自分とは何であるか問い直そうとしている。	定期考査	定期考査	レポート
		・思考が言語の枠組みのなかで行われていることを理解する。	a: ソシュールやウィトゲンシュタインなどの思想について理解している。 b: 思考が言語の枠組みのなかで行われていることについて，多面的に考察し，適切に表現している。 c: 言語論や言語哲学の理解を通して，私としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・構造主義の思想を理解する。	a: 野生の思考が意味するところについて理解している。 ・理性と狂気の区別が何によってなされているかについて理解している。 b: 構造主義の思想について多面的に考察し，適切に表現している。 c: 構造主義の理解を通して，人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
	現代の暴力に抗して	○非人間的な状況を前に，どのような生き方が求められているのだろうか。 ・生命が軽んじられている状況を前に，人間の理性や責任とは何かを理解する。	a: シュヴァイツァーの生命への畏敬、ガンディーの非暴力主義の考え方を理解している。 b: シュヴァイツァーやガンディーの思想をふまえて，人間の暴力的な行為に対してどう向き合うべきであるかについて多面的に考察し，適切に表現している。	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

			c:人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。			
		・フランクフルト学派が問題視しているところを理解する。	a: フランクフルト学派の思想および、アーレントが重要視する活動について理解している。 b: フランクフルト学派の思想をふまえて，理性は本来何をすべきであるかについて多面的に考察し，適切に表現している。 c: 本単元の思想の理解を通して，人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・ハーバーマスの思想を理解する。 ・ロールズやノージック，センの思想を整理する。 ・共同体主義の思想を理解する。	a: リベラリズムとリバタリアニズム、共同体主義の思想を理解している。 b: 自由や平等など様々な諸課題について具体的なテーマを取り上げ，多角的・多面的に考察している。 c: 公共性や正義の思想の理解を通して，社会に関わる事象や課題について主体的に追究し，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
	古代日本人の思想	・日本人の気質や文化が自然や風土と関連して形成されたことを理解する。	a: 和辻哲郎の文化の類型について理解している。 b: 当時の人々は四季をどのように味わっていたか，また，現代の私たちの四季の感じ方と共通する点や異なっている点を考察し，適切に表現している。 c: 日本人の気質や文化理解を通して，日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・日本人の道徳観の形成過程やその特質を理解する。	a: 日本人の道徳観が日本の自然や古代神道などと関連していることについて理解している。	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

			b: 日本人の道徳観や人生観と，世界のそれとではどのような違いがあるかを考察している。 c: 日本人の道徳観の理解を通して，日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。			
	日本の仏教思想	○日本人は仏教をどのように理解し，受け止めてきたのだろうか。 ・仏教の受容やそれが浸透した流れを理解する。	a: 仏教の受容やそれが浸透した流れについて理解している。 b: 仏教の受容やそれが浸透した流れについて，自らの経験や考え方を手がかりに多面的に考察し，適切に表現している。 c: 仏教の理解を通して，日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・鎌倉時代の仏教が何をめざしてどのような考え方をもつか理解する。	a: 鎌倉時代の仏教の特質を理解している。 b: p.154 の Check!および p.155 の Check!を通じて，道元、日蓮の思想を考察する。 c: 鎌倉時代の仏教の理解を通して，日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	レポート
		・日本の伝統的な文化や文芸が日本人の世界観や道徳観などと関わっていることを理解する。	a: 日本の伝統的文化や文芸，その美意識について理解している。 b: 日本人の美意識や無常観などのものの見方について，多面的に考察し，適切に表現している。 c: 日本人のものの見方や考え方の理解を通して，日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表 レポート
		・林羅山の上下定分の理など江戸幕府が注目した朱子学を理解する。	a: 朱子学の考え方を理解している。 b: 江戸時代において幕府が朱子学を重視した背景について考察する。	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

			c：朱子学への理解を通して，それがその時代の人々にどのような影響を与えるかについて主体的に追究しようとしている。			
		・朱子学の考え方に対して日本陽明学はどのような主張をしたか理解する。	a：中江藤樹が強調した孝や良知などの考え方を理解している。 b：朱子学と，日本陽明学を比較して，それぞれの具体的な事例をあげて説明し，両者の特質を多面的に考察する。 c：日本陽明学の実践を重視するものの見方や考え方をふまえて，自らの考え方がどうあるべきかについて主体的に追究したり，思索を深めようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・日本独自の儒学思想としての古学の特徴や考え方を理解する。	a：山鹿の提唱した士道や伊藤の古義学，荻生の古文辞学の考え方について理解している。 b：誠がどのような実践によって成立するのか，多面的に考察し，適切に表現している。 c：古学の理解を通して，日本人としてのあり方生き方について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・国学者が理想とした，外来思想を受け入れる以前の古代日本に見出した日本固有の道の考え方を理解する。	a：国学がおこった背景や本居宣長の思想について理解している。 b：本居宣長と朱子学とでは，人間の本性に対する理解はどのように違うのか考察している。 c：国学の理解を通して，日本としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，日本人として大切としたいものの見方や考え方への理解を深めようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・町人文化や町人の道徳，農民の社会にうまれた人生観，道徳観などを理解する。	a：石田梅岩、安藤昌益，二宮尊徳など庶民の思想について理解している。 b：庶民の思想について，現代でその考え方をとらえ直すとき，どのように評価できるか，多面的に考察し，適切に表現している。	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

			c:日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，日本人としてよりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。			
		・西洋の学術との接触は，封建的な当時の日本社会にどのような影響を与えたのか考察する。	a:佐久間象山の「東洋道徳，西洋芸術」の考え方を知り，西洋の学術がどう普及し展開されていくか理解している。 b: 当時の日本において尊王攘夷と開国佐幕との対立について，多角的・多面的に考察している。 c: 幕末思想の理解を通して，日本人としてのあり方生き方について主体的に追究したり，よりよい社会形成のために何を基準に判断することが望ましいのか考えを深めようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
	西洋思想の受容と展開	・外来の文化を受容することと，日本の伝統や文化の継承とを，どのように折り合いをつけていくべきか考察する。	a: 福沢諭吉の天賦人権論を適切に読み取っている。 b:中江兆民の恩賜的民権と恢復的民権について，現代日本の民主主義や人権意識をふまえて，多面的に考察している。 c: 明治の啓蒙思想や自由民権運動への理解を通して，日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，よりよい社会を形成しようと現代社会の課題について関心を広げようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・内村鑑三の思想を理解する。	a: 内村鑑三の二つのＪ，無教会主義の考え方を理解している。 b: イエスと日本の「二つのＪ」は，どのような関係にあったか多面的に考察している。 c: キリスト教が日本人としてのあり方生き方とどのように関係し，どのようにとらえればよいかについて主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・急激な社会変化に対してどのような道徳観や社会変革の考えがうまれたか理解する。	a: 国家主義や国粋主義，社会主義の基本的な考え方を理解している。	定期考査	定期考査	口頭発表 レポート

※令和４年度以降入学生用

			b: 産業の発達や日清・日露戦争の時代において，社会主義がどのような役割を果たそうとしたかについて，多角的・多面的に考察し，適切に表現している。 c: 国家主義や社会主義の理解を通して，日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，よりよい社会を形成しようとしたりしている。			
		・西洋文化が浸透し，急激に社会が変わるなかで，文学作品を通して個人のあり方生き方を追究する発信がなされたことを理解する。	a: 夏目漱石の個人主義や平塚らいてうの女性解放論など近代的自我の芽生えについて理解している。 b: ・p.180 の Check!を通じて，「自己本位」と利己主義，「他人本位」と他者の尊重はどう違うか，具体的な例をあげながら多面的に考察している。 c: 近代的自我への理解を通して，日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査	レポート
		・日本でうまれた独自の思想を理解する。	a: 西田幾多郎の純粋経験や善の考え方について理解している。 b: デカルトと和辻哲郎とでは，確実さの理解にどのような違いがあるか，多面的に考察し，適切に表現している。 c: 日本独自の思想の理解を通して，日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・小林秀雄や丸山眞男の思想を手がかりに，国際社会に生きる日本人としてどのような課題があるかについて理解する。	a: 民俗学が注目した日本人の伝統や考え方について理解している。 ・坂口安吾や丸山眞男が大戦についてどのような思想的反省を加えたか理解している。	定期考査	定期考査	レポート

※令和４年度以降入学生用

			b: 日本人の伝統的な死生観・自然観は，生命倫理や環境倫理などの現代的課題を考察するうえでどのような意義をもつか考えをまとめ，適切に表現している。 c: 国際社会に生きる日本人としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。			
3学期	自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理	・代理出産や臓器移植，ゲノム編集など生命をめぐる問題について考察する。	a: インフォームド・コンセントや SOL，安楽死・尊厳死など生命倫理に関する用語や概念を理解している。 ・代理出産や臓器移植，ゲノム編集などの生命倫理の問題の賛否の考えを適切にまとめている。 b: 生命をめぐる倫理的課題のうち，特に関心のあるテーマを取り上げ，どのような争点があるかを多角的・多面的に考察している。 c: 生命倫理への理解を通して，人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表
		・環境問題解決に向けた取り組みを理解する。 ・環境問題に関する思想家の主張を理解する。	a: ピーター=シンガーやレオポルド，ハンス=ヨナスなどの思想家の主張を理解している。 b: 環境問題の解決に向けて何ができるか考察している。 c: 環境保全や人間としてのあり方生き方に関わる課題について主体的に追究しようとしたり，問題解決に向けて自ら考え自ら行動しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表
		・プライバシーの権利や情報リテラシー，人工知能などについて考察する。	a: プライバシーの権利や情報リテラシーなど科学技術をめぐる用語について理解している。 b: 「AI やロボットが社会にもたらす利益と課題」について考察し，適切に表現している。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

			c: 科学技術をめぐる倫理的課題への理解を通して，人間としてのあり方生き方を主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる社会を形成しようとしたりしている。			
	社会と文化にかかわる諸課題と倫理	・ダイバーシティ&インクルージョンを達成するためにどのような考え方・態度が求められるか考察する。	a: ケアの倫理やダイバーシティ&インクルージョンなどの考え方について理解している。 b: ロールズとギリガンの考え方を理解する。 c: 人類の福祉への理解を通して，人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表
		・グローバル化における文化や宗教をめぐる様々な課題について考察する。	a: 文化相対主義やオリエンタリズム，宗教多元主義など，文化や宗教をめぐる用語や概念を理解している。 b: どうして宗教が必要なのか多角的・多面的に考察し，適切に表現している。 c: 文化と宗教への理解を通して，人間としてのあり方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる社会を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表
		・現実に存在する紛争やテロをふまえて，世界の平和を実現するために何ができるか考察する。	a: 世界の紛争が発生する背景や原因について理解している。 b: 世界の平和をめぐる倫理的課題のうち，特に関心のあるテーマを取り上げ，どのような争点があるかを整理し，多角的・多面的に考察し，適切に表現している。 c: 世界の平和への理解を通して，人間としてのあり方生き方について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる社会を形成しようとしたりしている。	定期考査	定期考査	口頭発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度